

幸せな人生ってなんだろう 「健全育成」 8月23日(土)

「幸せな人生ってなんだろう」をテーマに、屋代中学校校区「子ども健全育成をすすめる会」が、屋代小学校を会場に開催されました。前半は、中村美幸さん（コーチングオフィスブリエ代表）の講演をお聞きし、後半は8つの分散会でテーマにもとづいて話し合いがもたれました。

【中村美幸さんの講演「幸せな人生の創り方」より】

一歳四ヶ月で天使になった息子溪太郎くんの付き添い看護をする



中で、「幸せは自分の両手の中にあったんだ。幸せって、本当は、こんなにたくさんあったんだ」と気づくまでのお話をされました。そして、三つの大切なことを伝えてくれました。



- 一 「当たり前」のワナを外しましょう。あるのが当たり前、できるのが当たり前、いてくれるのが当たり前と思っていると、目の前にある小さな幸せに気づかなくなる。
- 二 「大切な人を今できることで大切にする」
- 三 「人との比較を手放しましょう」。この子はこの子らしく、自分は自分らしく幸せになればいい。

命の重さを感じ涙が出ました。子どもが健康で、元気でというのさえあればと頭ではわかっているけれど、自分が疲れているときはやつあたりをしたり、お手伝いをしないと怒ったり・・・大切なことを忘れていました。

自分の子どものためなところを気にしてしまう。良いところをもっと見てあげようと思う。できたことをほめてあげたい。

子どもが生まれたときの幸せを思い出した。子どもが大きくなれば人と比較してしまう。子どもにも幸せの感じ方を伝えたい。【参加者の感想より】

地震を想定した避難訓練を実施しました！ 9月3日(水)



今回は、地震による火災で、防火扉が閉まったという想定で訓練を行いました。防火扉についている脱出用の扉をくぐって避難する経験をしました（3～6年生）。子どもたちは、扉をくぐる時にもハンカチで口や鼻を覆い、落ち着いて行動することができました。

【校長先生の講評より】私たちの住んでいるこのあたりにも、江戸時代 1847 年に、「善光寺地震」と名付けられた大きな地震(M7.4)がありました。犀川が崩れた土砂でせき止められ、ダムのようになり、その水が一気に流れ出しました。長野市だけでなく、千曲市や飯山市まで水がきたそうです。先生が小学生の頃には、5年半もつづいた「松代群発地震」もありました。長野県は地震には注意しなければなりません。

地震が発生したら、「お」身近にある物で頭をおおう。「も」机などの下へもぐる。「に」机の脚などをにぎる。以上の点に気をつけて自分の頭や体を守ってください。すぐに外に出たり、窓の近くに行ったりして、壊れたガラスでけがなどがないようにしましょう。今日の訓練は、とても良くできました。

今週は運動会！練習をがんばっています！

花壇見頃です！



【体罰に関する県の相談窓口】<長野県からのお知らせです>

○ 子どもや保護者の声をお聴きします・・・

「子どもの権利支援センター」(心の支援室内) 026-235-7458

○ 小中学校に関することは・・・

義務教育課 026-235-7426

○ 部活動・社会体育に関することは・・・

スポーツ課 026-235-7448

○ 青少年に関することは・・・

「なんでもハロー青少年」(次世代サポート課内) 026-235-7100

☆ 義務教育課では、封書、電話、ファックス、メール等で相談ができます。
下記の宛先等をご活用ください。

宛 先 長野県教育委員会義務教育課 「体罰に関わる相談窓口」宛
住 所 〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2
電 話 026-235-7426 (直通)
F A X 026-235-7494
E-mail taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp